

プレモル

1 2 5
1 3

早強

特徴

- ・普通セメントモルタルと比較した場合、1日で約3日強度が発現し、型枠の早期脱型や早期使用が可能です。
- ・水を加えて練るだけで、簡単にご使用いただけます。
- ・面倒な現場での配合が不要です。
- ・プレミックスですので安定した品質が得られます。
- ・包装は廃プラスチック類として廃棄でき、分別不要です。
- ・紙袋と比較して、防湿性に優れており保管安定性が高くなっています。

主な用途

- ・コンクリート・モルタル構造物の補修
- ・床・壁面の下地調整
- ・ブロック・レンガ積み
- ・型枠の早期脱型が求められる現場など

荷姿・仕様

- ・内容量：20kg
- ・包装：ポリエチレン袋
- ・水量：2.8～3.2L/袋
- ・練上り容積：10.7L/袋（94袋/m³）

仕様と加水量の目安

施工面積の目安

プレモル1 2 5早強		プレモル1 3早強	
早強セメント 1	砂 2.5	早強セメント 1	砂 3
1 袋	清水	1 袋	清水
2 0 kg	3. 0 L	2 0 kg	2. 8 L

プレモル1 2 5早強・1 3早強 共通			
1 袋当りの施工㎡		使用袋数	
5mm 厚	1 0mm 厚	1 5mm 厚	1 ㎡
2. 1 ㎡	1. 0 ㎡	0. 7 ㎡	9 4 袋

物性

項目	曲げ強さ(N/mm ²)			
材令	1 日	3 日	7 日	2 8 日
プレモル1 2 5早強	4 N/mm ²	8 N/mm ²	9 N/mm ²	1 0 N/mm ²
プレモル1 3早強	4 N/mm ²	6 N/mm ²	7 N/mm ²	1 0 N/mm ²

項目	圧縮強さ(N/mm ²)			
材令	1 日	3 日	7 日	2 8 日
プレモル1 2 5早強	2 3 N/mm ²	3 6 N/mm ²	3 6 N/mm ²	5 0 N/mm ²
プレモル1 3早強	1 8 N/mm ²	3 1 N/mm ²	3 3 N/mm ²	4 3 N/mm ²

※上記データは参考値です。品質保証値ではありません。

施工手順

<下地処理>

- ① プレモルの接着を阻害するコンクリート表面のレイタンス、油分、汚れ等を除去してください。
- ② 下地面に水湿もしくはプライマー処理（プライマーの使用に従う）を行ってください。

<高速ハンドミキサーでの攪拌>

- ① ペール缶等の容器に規定量の2／3程度の水を入れてください。
残りのプレモル投入し、施工に応じた軟らかさになるように水で調整し攪拌してください。

<モルタルミキサーでの攪拌>

- ① モルタルミキサーにプレモルを投入してください。
- ② 施工可能軟度になるまで徐々に水を加えてください。
- ③ プレモルが水となじむまで十分にモルタルミキサーを回してください。

<塗りつけ>

- ① 攪拌したプレモルは鍔圧を加えながらしごき塗りを行い、追っかけで所定の厚みまで塗り付けて仕上げて下さい。
- ② 一回に塗り付ける事の出来る塗り厚は壁面で10mm以下、床面で30mm以上です。

<養生>

- ① 乾燥、凍結を避け、塗り付け後一週間養生してください。

使用上のご注意

- 本製品はセメントを基材とした「業務用」プレミックスモルタルです。取り扱いはセメントと同様に行ってください。
- 雨・露のかからない乾燥した場所に保管して下さい。
- 気温5℃以下での施工は行わないで下さい。
- 激しい通風・日射による急速乾燥を避け、必要に応じてシート養生・散水養生を行ってください。
- 施工中および硬化するまでは雨、雪などを避けてください。
- 混練りした材料は1時間以内に使い切ってください。
- 練り足し、加水による練り戻しは行わないで下さい。
- 保護メガネ、防塵マスク、ゴム手袋を着用の上、取り扱ってください。
- 本製品は製造年月日を確認し、5ヶ月以内を目安に使用して下さい。

環境・自然 循環型社会の創造と提案



本社 〒547-0014 大阪市平野区長吉川辺 3-20-3
Tel 06-4305-3811 Fax 06-6708-3101